

令和 6年度 杉並区施策評価シート I

資料 1

(00063)

施策	28	次世代への歴史・文化の継承
目標	08	文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち
施策担当課	生涯学習推進課	関係課 総務課 文化・交流課 中央図書館

施策目標	伝統的な歴史や文化が継承され、区民が地域に対する魅力に誇りを持ち、郷土愛が一層育まれています。区民の愛郷心が醸成されるとともに、文化都市としてのイメージが根付き、区内外に定着しています。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	杉並区文化財指定登録総件数	指標名 (1)	歴史や文化などが、まちに根付いていると思う区民の割合 区民意向調査による【区民】
算式・指標説明	杉並区文化財を指定登録した件数	算式・指標説明	
指標名 (2)	企画展・講座・教室等事業実施回数	指標名 (2)	郷土博物館の観覧者数
算式・指標説明		算式・指標説明	郷土博物館の来館者数及び出前型事業の来場者数【行政】
指標名 (3)		指標名 (3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名 (4)		指標名 (4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名 (5)	
		算式・指標説明	
		指標名 (6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標	活動指標 (1)	1	件	150	151	151	152	152		
	活動指標 (2)	2	回	26	50	40	40	35		
	活動指標 (3)	3								
	活動指標 (4)	4								
成果指標	成果指標 (1)	5	%	5.1	5.0	4.2	6.0	4.5	15.0%	令和12年度
	成果指標 (2)	6	人	27,744	30,000	30,915	31,000	31,007	38,000人	令和12年度
	成果指標 (3)	7								
	成果指標 (4)	8								
	成果指標 (5)	9								
	成果指標 (6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	21,362	30,974	29,622	109,382	104,640	特記事項 文化財案内表示板及び文化財標柱の建替えを実施したため、事業費が増額しました。	
	人件費	12	千円	100,752	101,801	100,008	105,078	114,965		
	総事業費 (11+12)	13	千円	122,114	132,775	129,630	214,460	219,605		
	国・都からの補助金等	14	千円	2,550	2,700	814	2,700	860		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			6.2	61.5	69.4		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	82.5	76.7	77.1	49.0	52.4		

課題・分析	<p>郷土博物館の収蔵庫及び発掘調査で出土した遺物の保管場所は、いずれも飽和状態となっている中、区指定・登録文化財所有者の世代交代により管理できなくなった資料の寄贈・寄託等によって資料数は年々増加しています。歴史資料や文化遺産を次世代に確実に継承していくためには、収蔵スペースの確保が喫緊の課題となっています。</p> <p>また、区内の文化財を適切に保存・活用していくため、文化財保護ボランティアの活動の拡充とともに、文化財の活用の一環として、デジタルアーカイブ化による広範な情報発信が求められます。ただし、紙媒体資料の公開に際しては、著作権者の許諾等の必要な対応が課題となっています。</p>
施策の成果	<p>区民が歴史・文化に親しむ機会として、郷土博物館本館では、杉並の地域に根差した題材でありながらも区の内外にアピールできる魅力ある特別展や企画展を実施するほか、これまで非公開となっていた区指定文化財のレプリカを製作し、常設展示を実現しました。分館においても区民参加型展示を実施するだけでなく、関連するパネル展示を永福図書館で出前型展示として実施しました。また、区民、児童・生徒の学びの場となるよう、古文書講座や親子博物館教室等を実施しました。これにより、年間を通じた観覧者数は、目標値を上回る31,007人となりました。</p> <p>区内所在の文化財については、表示板等の建て替えのほか、それらを活用したクイズラリーを実施し、文化財の周知及び区民が区内所在の文化財に親しむ機会の充実に努めました。</p> <p>このほか、令和6年度の「荻外荘」の一般公開に向けて、関係資料の調査を陽明文庫と共同で実施しました。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>杉並の地域に根差した歴史や文化を次世代に継承していくためには、歴史的・文化的資料の保存と活用を図りつつ、区民がこれらに親しむことができる場や機会を充実させるとともに、杉並の歴史・文化を区内外に発信し、区民の愛郷心を一層醸成していくことが重要です。</p> <p>今後、郷土博物館において区内外にアピールできる魅力ある特別展・企画展の実施や、世代を超えた区民の学びの場として古文書講座や親子博物館教室等を開催するほか、埋蔵文化財調査により出土した資料や区指定文化財等の公開など、区民が歴史・文化に親しむ機会を様々な形で提供していきます。また、令和6年12月から復原・整備を終えた荻外荘の一般公開が開始となりますが、引き続き陽明文庫と荻外荘関係資料の共同調査を進め、その成果を展示等に活かしていきます。</p> <p>このほか、区が保有する歴史的・文化的資料を広く周知するため、資料のデジタルアーカイブ化の検討を進めます。</p>

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00521)

事務事業名称	文化財調査・保護				款	07	項	04	目	01	事業	005	整理番号	502
現担当課名	生涯学習推進課			係名	文化財係			連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	507		
上位施策No・施策名	28 次世代への歴史・文化の継承								予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度	実行計画事業	目標	08	施策	28	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般	根拠法令等 (1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できるようにする。	活動指標 指標名（ 1 ） 埋蔵文化財窓口照会件数 指標説明 窓口で埋蔵文化財の包蔵地の照会を行った件数 指標名（ 2 ） 杉並区文化財指定登録総件数 指標説明 杉並区文化財を指定登録した件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存する。また、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報提供を進める。さらには区内団体などと協働し、文化財の公開・活用に努める。埋蔵文化財の適切な保護・保存を図るため、埋蔵文化財調査を実施する。国の史跡指定を受けた荻外荘に関する資料等の調査を実施する。	成果指標 指標名（ 1 ） 埋蔵文化財調査延べ日数 指標説明 埋蔵文化財調査を行った延べ日数【社会】 指標名（ 2 ） 杉並区文化財保護奨励金の交付件数 指標説明 文化財所有者に文化財保護奨励金を交付した件数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	3,452	3,500	2,846	3,500	2,250	2,500	64.3	96.3
活動指標 (2)	2 件	150	151	151	152	152	153	100.0	
成果指標 (1)	3 日	304	300	196	300	175	300	58.3	
成果指標 (2)	4 件	111	111	111	112	112	112	100.0	
事業費	5 千円	10,893	17,719	17,028	96,207	92,620	13,845	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	22,112	21,647	22,216	24,954	27,457	25,113	令和5年度は、文化財案内標示板及び文化財標柱139基の建替え等を実施したため事業費が増額しました。
	上記以外の職員	7 千円	18,375	18,375	18,390	18,390	19,035	19,035	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	51,380	57,741	57,634	139,551	139,112	57,993		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,550	2,700	814	2,700	860	3,000	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,550	2,700	814	2,700	860	3,000	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	48,830	55,041	56,820	136,851	138,252	54,993	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 502

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	文化財案内標示板等建替・貼替	139	基	80,448
	埋蔵文化財調査委託	4	件	3,292
	妙法寺板絵レプリカ製作			2,414
	指定登録文化財保護奨励	112	件	1,740
	その他 (文化財保護審議会の運営、文化財ボランティア活動、刊行物発行他)			4,726
取組成果	<p>老朽化した文化財案内標示板及び文化財標柱、139基の建替え等を行うとともに、文化財案内標示板を活用したクイズラリーを実施し、文化財の周知に努めました。これまで非公開となっていた区指定文化財「板絵着色老翁奇瑞の図」のレプリカを製作し、郷土博物館で公開しました。</p> <p>文化財指定については、「渡邊錠太郎関係資料」の追加指定と「柳井平八関係資料」の新規指定を行いました。このほか、令和6年度の荻外荘の一般公開に向けて、荻外荘関係資料の調査を陽明文庫と共同で3回実施しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>建築工事等に伴い、埋蔵文化財の緊急発掘調査を行っています。出土した遺物は、文化財保護法及び遺失物法により保存する義務がありますが、保管場所の確保が課題となっています。</p> <p>区内の文化財の保護・活用を推進するため、文化財保護ボランティア活動の拡充や、区の歴史的資料のデジタルアーカイブ化による広範な情報発信が求められています。紙媒体資料の一般公開に際しては、関係する著作権者からの許諾を得る必要があり、課題となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>平成10年度に文化財指定した森泰樹氏旧蔵横倉家文書の関係資料について、追加の文化財指定を目指し、文化財保護審議会を運営しています。</p> <p>学校等の建築工事に伴い、埋蔵文化財の調査を実施していますが、出土した調査成果を公開活用するよう努めています。</p> <p>文化財保護ボランティアの協力により、資料整理作業や史跡散歩クイズを実施しています。</p> <p>令和6年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>荻外荘の復原整備工事が令和6年10月に完了します。同12月の一般公開に向けて、建物内に展示する調度品、映像資料等や、関連する刊行物の製作を進めています。</p> <p>また、令和7年度以降の指定・登録文化財候補を検討し、予備調査を行います。</p> <p>さらに郷土博物館と協力し、荻外荘関連の展示や文化財保護ボランティア作業を行います。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和4年度から始まった荻外荘の復原整備工事は令和6年度に終了し、令和7年度には復原整備工事報告書の刊行を予定しています。補助金を活用することで実質的な経費を抑えるようにします。</p> <p>図書館や郷土博物館と連携し、区の歴史や文化財に関する情報を広く周知するため、文化財のデジタルアーカイブ化を検討します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00527)

事務事業名称	郷土博物館の運営管理				款	07	項	04	目	01	事業	011	整理番号	504
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館		連絡先電話番号	3317-0841			昨年度整理番号	509			
上位施策No・施策名	28 次世代への歴史・文化の継承								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	08	施策	28	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般								

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	一般区民、自主活動団体等	根拠法令等	(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解を高め、愛着心の向上を図る。	活動指標	企画展・講座・教室等事業実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。学校教育等への支援・連携を行う。研究紀要等を発行する。	指標名 (1)	収蔵資料総数
		指標説明	
		成果指標	郷土博物館の観覧者数
		指標名 (1)	郷土博物館の来館者数及び出前型事業の来場者数【行政】
		指標説明	来館者の満足度
		指標名 (2)	来館者へのアンケート結果 (満足を3、普通を2、不満を1とした平均点)【区民】
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	26	50	40	40	35	40	87.5	91.2
活動指標 (2)	2 点	147,112	147,500	147,479	147,800	148,983	149,500	100.8	
成果指標 (1)	3 人	27,744	30,000	30,915	31,000	31,007	32,000	100.0	
成果指標 (2)	4 点	2.7	3.0	2.8	3.0	2.8	3.0	93.3	
事業費	5 千円	10,469	13,255	12,594	13,175	12,020	14,904	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	27,190	25,029	23,873	24,954	30,403	35,359	
	上記以外の職員	7 千円	33,075	36,750	35,529	36,780	38,070	38,070	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	70,734	75,034	71,996	74,909	80,493	88,333		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	70,734	75,034	71,996	74,909	80,493	88,333	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 504

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	特別展・企画展の開催	8	回	8,256
	郷土博物館運営協議会の開催	3	回	308
	博物館事業の運営管理等	2	所	3,456
	その他 ()			
取組成果	<p>特別展「大正天皇の後 貞明皇后展」を開催し、幼少期を過ごした杉並との関わりや皇后ゆかりの品々を展示したほか、企画展を3回開催しました。分館では「生誕120年 棟方志功」をはじめ、企画展・区民参加型展示を計4回実施しました。そのほか、古文書講座や親子博物館教室、子ども博物館教室などを実施し、広く区民、児童・生徒の学びの場となるよう努めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>設備老朽化による空調工事で1.5か月間特別展示室が使用できない中、杉並に根差した題材でありながらも区の内外にアピールできる魅力ある特別展・企画展の実施を行い、目標とした観覧者数31,000人を達成しました。来館者アンケート結果についても、展示や施設に関して昨年度に引き続き高い評価を受けています。ただし、新型コロナウイルス感染症発生前と比べ、さらなる観覧者数増を実現する余地があります。展示の企画を工夫し、年度内の観覧者総数や平均観覧者数を過去実績と比較分析することで、更なる集客を目指します。また、来館者数を増やすだけでなく、デジタルアーカイブ化を進め、歴史資産や文化資産を次世代に継承する取組が必要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>郷土博物館及び館外収蔵庫とも飽和状態にある中、館外収蔵庫として使用していた旧永福図書館も旧和田会議室に移転を余儀なくされるなど、安定的な収蔵環境が確保されていません。区指定・登録文化財所有者の世代交代により管理できなくなった資料の寄贈・寄託等により、資料数は年々増加しています。このため、収蔵資料の定期的な点検や整理を行いつつ、収蔵スペースの確保を検討していく必要があります。また、収蔵資料を活用した杉並らしい展示の開催など、貴重な文化財を広く区民に公開していくことが重要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>杉並の歴史文化に触れる機会を提供し、区民の郷土に対する理解を高め、愛着心の向上を図るため、企画展、準常設展、区民参加型展示、講座・教室等の事業を計12回開催しました。現在は年度後半の特別展・企画展や行事に向けて、準備を着実に進めています。また、収蔵スペースの確保や資料の有効活用のため、資料整理に取り組み、年度末に分館で収蔵資料展を開催する予定です。さらに、歴史遺産や文化遺産を次世代に継承する取組として、古文書や写真を中心に資料のデータ化を実施しています。予算執行率は現時点で約43%ですが、年度末には100%に近い執行率となる予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>観覧者数は、現時点では昨年度と同程度の数値です。 11月には荻外荘の復原整備公開に合わせた特別展の開催を予定しています。陽明文庫所蔵の杉並にゆかりの貴重な日本画や香道具の展示に向けて準備を進めています。また、区民に身近な場所で歴史や文化に触れる機会を提供するため、出前型展示の実施など、情報発信にも力を入れます。このほか、デジタルアーカイブの公開を目標に収蔵資料の点検整理を順次進め、収蔵スペースの確保と資料のデータ化を行い、次世代に歴史や文化を継承していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>博物館法改正に伴う区条例の規定整備により、学芸員研修とデジタルアーカイブ化について力をいれる必要があります。図書館が導入を予定しているデジタルアーカイブシステムに資料を提供するため、博物館の収蔵品管理システムの導入を検討しており、図書館等関係各課との検討を進めています。収蔵品管理については、膨大な資料の履歴管理、資料活用、資料公開の大前提となります。また、デジタルアーカイブの実装は9年度末までを期限とする博物館法による登録申請にあたり重要な要素となります。</p>	